

平成28年度 中学2年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	週1時間
年間目標	中学1年生での学習を基に、より幅広い表現を目指す。
使用教科書	「中学生の音楽2・3上」、「中学生の音楽2・3下」、「中学生の器楽」教育芸術社
使用補助教材	アルトリコーダー

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	○歌唱 早春賦 ○鑑賞 組曲「展覧会の絵」	日本歌曲に親しむ イメージを膨らませながら鑑賞する	日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。 楽曲が表現している内容を自分なりのイメージを持つて感じ取らせる。
	後 半	○器楽 リコーダーアンサンブル ○歌唱 夏の思い出	リコーダーアンサンブルに親しむ 日本歌曲に親しむ	より高度なアンサンブルに取り組ませる。 日本語の持つ美しさを感じ取り、表情豊かに表現させる。
2 学 期	前 半	○鑑賞 アランフェス協奏曲、その他協奏曲 ○歌唱 帰れソレントへ	協奏曲に親しむ カンツォーネに親しむ	ギターやその他の楽器の協奏曲に親しみ、協奏曲について理解させる。 様々な楽器の音色に親しみ、それぞれの良さを感じ取らせる。 楽曲の特徴を理解し、調の変化を感じ取りながら歌唱させる。
	後 半	○器楽 リコーダーアンサンブル ○鑑賞 日本及びアジア諸国の音楽	テノール、バスを含むアンサンブル 世界の様々な音楽に親しむ	テノール、バスを含んだ4声のアンサンブルに親しませ、 総合的なアンサンブル能力を向上させる。 日本やアジア諸国の音楽に親しみ、音楽の多様性を感じ取らせる。
3 学 期		○鑑賞 ボレロ ○合唱 心と心で、教科書より数曲	様々な楽器の音色に親しもう 合唱の響きに親しむ	楽曲の特徴を理解し、オーケストラにおける様々な楽器に親しませる。 合唱の響きに親しみ、他者と心を合わせて歌えるようにさせる。

評価方法	実技試験(歌唱・器楽)、ノート検査を学期ごとに数回行い、採点する。
------	-----------------------------------

学習方法	・器楽、歌唱 楽譜を正しく読み、音として表現する。また、表現の工夫をし、自分なりの演奏をできるようにする。 ・鑑賞 楽曲の成り立ちや作曲者について理解する。また音楽を形作っている様々な要素を感じ取り、自分なりの感想を文章で表現できるようにする。
------	---

注意事項	特になし
------	------

インフルエンザ等 臨時休校になった 場合の課題	特になし
-------------------------------	------